

東京都教育委員会の教育目標

- 互いの人格を尊重し、思いやりと規範意識のある人間
- 社会の一員として、社会に貢献しようとする人間
- 自ら学び考え行動する、個性と創造力豊かな人間

練馬区教育委員会の教育目標

人間尊重の精神を基調とし、学校・家庭・地域社会との緊密な連携の下に、心身ともに健康で知性と感性に富み、人間性豊かな子供の育成を図る。

学校教育目標

教育基本法「教育の目的と目標」、東京都教育委員会の教育目標、練馬区「みどりの風吹くまちビジョン」「練馬区教育・子育て大綱」および教育指導課の主要施策等を基にして本校の教育目標を設定する。

心ゆたかな子ども
 ・よく考える子ども
 ・力を合わせる子ども
 ・健康で明るい子ども

学校・地域の実態

児童は、明るく素直である。与えられた課題には誠実に取り組むが、自主的に課題を見付け探究する姿勢を身に付けることが課題である。

地域・保護者の期待や願い

- 児童が心身ともに健康であること
- 確かな学力が身に付くこと
- 人と関わりながら、心豊かに成長していくこと

期待される児童像

- 自ら学ぶことができる児童
- 自らを律することができる児童
- 自分の居場所づくりができる児童
- 自分もほかの人も大切にできる児童

各教科の指導の重点

すべての教科を通じて、基礎的・基本的な知識及び技能の習得、課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等の育成、主体的に学習に取り組む態度の伸長を図る。

国語：国語を正確に理解し適切に表現する資質・能力の向上。伝え合う力、思考力や想像力、国語を尊重する態度の育成

社会：情報を適切に調べまとめる技能、社会への関わり方を選択・判断する力、主体的に問題を解決しようとする態度の育成

算数：日常の事象を数理的に処理する技能、筋道立てて総合的・発展的に考察する力、生活や学習に活用しようとする態度の育成

理科：自然の事象・現象の理解と、観察・実験などに関する基本的な技能の向上。問題解決の力や自然を愛する心情を育成

生活：生活上必要な習慣や技能、社会現象及び自然を自分との関わりで捉える力、自ら働きかけ、生活を豊かにしようとする態度の育成

音楽：曲想と音楽の構造についての理解、音楽表現をするために必要な技能、音楽表現を工夫する力や味わって聴く力、音楽に親しむ態度を育成

図工：対象や事象を捉える構造的な視点について理解し、造形的なよさや美しさ、表したいこと、表し方などについて考える力や、楽しく豊かな生活を創造しようとする態度の育成

家庭：日常生活に必要な基礎的な理解を図るとともに技能を身に付け、様々な解決方法を考える力を養い、よりよく工夫しようとする実践的な態度を育成

体育：運動の行い方及び身近な生活における健康・安全の理解、基本的な動きや技能、解決に向けて思考し判断する力、体力の向上を目指す態度の育成

外国語：日本語と外国語との違いに気付き、自分の考えや気持ちなどを伝え合うことができる基礎的な力、外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度の育成

学校経営計画（学力向上にかかわる要点）

- 楽しい学習・学び合いのある学習の展開
 - 「社会参画できる力」を意識した主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善
 - 国語科を中心とした「書くこと」の校内研究により、表現力や論理的思考力の向上
 - 一単位時間の学習活動の充実（見通しをもつ・考えをつくる・伝え合う・広げる・深める・振り返る）
 - I C T機器、デジタル教科書の活用
 - 読書記録の充実、読書イベント等による読書活動の活性化
 - 放課後補習教室の実施
 - 学力向上支援講師、地域人材、保護者等の人材活用
- 教室、廊下の環境、学習環境、言語環境などの整備
- 積極的な声かけ、顕彰活動による自己肯定感の育成

道徳教育の指導の重点

道徳科を要として学校の教育活動全体を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。

特別活動の指導の重点

学級活動、児童会活動、クラブ活動、学校行事等、自主的、実践的な集団活動を通して、人間関係をよりよく形成し、自己の生き方についての考えを深め、自己実現を図ろうとする態度を養う。

確かな学力の向上を図るための基本方針

- 社会に出た時に役立つ力を意識し、主体的に学ぶ意欲と態度を育てるとともに、家庭と連携を図りながら望ましい学習習慣を身に付けさせる。
- 基礎的、基本的な知識、技能を確実に習得、定着させ、それらを活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力を育成する。そのために、主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善を図る。
- 個々の資質、能力の実態や状況に応じたきめ細やかな学習指導を行うとともに、言語環境を整え、児童の言語活動を充実させる。

生活指導の重点

「安全安心な生活」を重点目標とし、「学園小のスタンダード」を基に児童一人一人の望ましい生活習慣と規律ある生活態度の定着を図り、学習環境を整え、学力向上につなげる。

キャリア教育の重点

将来について考える機会を設けるとともに、中学校との連携を図り希望や目標をもって進学する態度を育てる。

総合的な学習の時間の重点

問いを見出し、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現する力の育成

外国語活動の指導の重点

外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しみ、自分の考えや気持ちなどを伝え合う力の基盤を養い、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度の育成

指導内容・方法の工夫	教育課程編成・実施上の工夫	校内研究・研修の工夫	評価活動の工夫	家庭や地域との連携の工夫
<ul style="list-style-type: none"> 東京ベシック・ドリル診断テスト、国語アンケートの分析を基に、学習状況・学習実態の把握に努め、指導法の改善を図る。 基礎・基本を徹底させる指導方法を工夫していく。 体験的・問題解決的な学習を重視する。 	<ul style="list-style-type: none"> 幼保小連携、小中一貫教育の活動の推進に努め、他校（園）と連携をとりながら年間計画を作成する。 課題改善カリキュラムを作成・活用し、9年間を見通した学習指導の充実を図る。 算数科の習熟度別授業を中心に、個に応じた指導の充実を図る。 学校行事の精選を図り、授業時数の確保に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業において一人一人の学びを実現させるために、自分の思いや考えをもち、表現する子供の育成を目指して研究を行う。 「書くこと」を中心として、主体的・対話的で深い学びを実現するための手立てを工夫し、研究全体会でその効果検証を行いながら授業実践を積み重ねることで、指導力の向上を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 児童の学習に対する意欲喚起や学習方法の改善につながるように、指導と評価の一体化を図る。 見通しと振り返りを大切にして、ノート指導、発表の手順の明確化など、学び方を明確にすることで学力の向上を図る。 各教科の指導計画および評価規準を踏まえて、系統的、計画的に指導し、評価する。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校公開、学校行事、保護者会、各種便り、ホームページ等を通じて、教育活動を積極的に公開し、保護者や地域との連携を図るとともに、学校教育への理解と協力を求める。 地域の施設や人材を積極的に生かした授業を、推進する。 学校評議員制度を活用し、教育活動の充実に向けた意見を取り入れる。

授業改善策の検証方法の提示等内容・方法の工夫

- 東京ベシック・ドリル診断テスト、国語アンケートの結果を全教職員で検討、考察し、その内容を学校だより、ホームページ等で公開する。
- 授業改善推進プランを日々の教材研究や研究授業で活用し、常に授業改善を目指す。
- 単元終了時に定着度を図るなどの調査を実施し、その結果を生かして授業改善を行う。